



ま つ ぎ き

2012
(平成24年)

3

No.574

「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」を宣言しました (2/23)

(雲見高通山北側展望台からの富士山)

「世界でいちばん富士山 がきれいに見える町」 を宣言しました

(宣言文要旨)

私たちの松崎町は、静岡県で一番人口の少ない町ですが、豊かな自然と文化に恵まれています。

そんな素晴らしい松崎町には、胸を張って「世界一」と言える財産があります。駿河湾越しに見える富士山の大パノラマです。

私たち松崎町民は、海に浮かぶ富士山を子どもの頃から、当り前の日常風景として馴れ親しんできました。

また、雲見の浅間山には浅間神社があり、そこに祀られている磐長姫命イハナガハヒメノミコトは、富士山の浅間神社に祀られている木花之開耶姫命キハナノヒメノミコトのお姉さんにあたると伝えられ、歴史的にも切っても切れない深い縁の関係にあります。

静岡県内や山梨県、その他の地域にも富士山の絶景ポイントがあります。きっと、「わが町から見ると富士山が一番きれいだ」といったたくさんの方々の主張があるに違いありません。

私たちは、富士山自慢のわが市、わが町の皆様と一緒に、富士山世界遺産登録に向けた活動を盛り上げるとともに、富士山をまちおこしに生かしていくために、松崎町が「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」であることを宣言します。

平成24年2月23日

松崎町長 齋藤文彦

雲見海岸で 宣言を実施

富士山の日となる2月23日(木)、雲見海岸で、関係者約50人が参加して、「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」を宣言しました。

この宣言は、町から見える富士山の価値を町内外の人に再認識してもらい、まちおこしや町民の誇りを高める手段として活用していただくことを目的に行われました。

宣言終了後、環境センター文化ホールでは、松崎町文化協会つわぶき写真クラブ・デジカメ写真クラブの皆様のご協力をいただき、「松崎町から見える富士山写真展」が開催

され、会員が持ち寄った写真37点が展示されるとともに、もちまき大会が行われ、多くの来場者で賑わいました

宣言までの経緯

昨年12月に、町民有志の方たちが齋藤町長を訪問し、「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」を宣言したいとの相談がありました。

その後、町民有志の方たちは、観光協会と商工会の協力の下、実行委員会を組織し、写真愛好家の方などに支援をいただきながら、町内各所を巡り、富士山の絶景ポイントについて、現地調査を行いました。

今後の予定

実行委員会では、現地調査の結果を踏まえ、町内の富士山絶景ポイントを紹介するためのパンフレットやポスターの作成、ウォーキング大会の開催などを計画しています。



宣言する齋藤町長

【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

をPRできます。

この宣言が、静岡県内外のたくさんの方に知られ、松崎を訪れていただけるようこれからも行動していきます。

また、松崎がもつと元気な町になり、住民の皆様、特に子供たちが胸を張って「世界でいちばんの町」と言えるようになることを信じています。



実行委員会
代表
端山晋一さん

「松崎から世界一」を発信できたらいいなあ」そんな思いからできあがったのが「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」宣言です。

子供の頃から当たり前のよ

「住んでよし」「訪れてよし」の魅力ある農山漁村づくり 「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合設立

2月23日(木)、新東名清水PAにて、「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合設立式典が開催されました。

式典では、川勝静岡県知事より、花の種子の目録が手渡された後、発起人である齋藤町長が設立を宣言しました。

この連合設立は、松崎町を会場に開催した「第16回全国棚田(千枚田)サミット」において、全国各地から訪れた皆様から、棚田再生の取り組みや、駿河湾を眼下に富士山

を望む美しい景観を評価していただいたことがきっかけとなりました。

この連合は、農村の持つ魅力の大きさを再認識するとともに、その活用必要性を痛感し、魅力や美しさに溢れた地域づくりを推進するため、県下の各市町に呼び掛け、賛同いただいた35の市町で設立しました。

会場では、地元食材を使ったおもてなしや美しく品格のある邑のPRも行われました。



川勝静岡県知事から目録を手渡される齋藤町長



設立を宣言する齋藤町長



パネルディスカッション

パネルディスカッション

式典終了後、富士宮市の芝川文化ホールに会場を移し、

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」パネルディスカッションが開催されました。

個性と魅力にあふれた全国の農山漁村づくりの事例発表や、松崎町長はじめ5人のパネリストが参加したパネルディスカッションでは、魅力ある農山漁村について活発な意見が交わされました。

連合の目的

素晴らしい地域資源を有する農山漁村が、その魅力、美しさを再評価することで地域への愛着心や誇りを醸成すること。また、その地域資源の保全、活用を通じた活性化により、物・心ともに豊かになることで、自らが地域の将来像を考え、行動する自立したコミュニティの形成により、「ふじのくに美しく品格のある邑」として、憧れを抱き惹きつけられる「住んでよし訪れてよし」の地域となることを目的としています。

運動の推進

運動の方針を実現していくために県と連合が連携し、景観の美しさのみならず、地域の資源を保全し、次世代に継承しようとする人々の努力や絆の美しさも含めて、一定の基準に基づいて顕彰・登録する制度づくりを行い、推進していきます。

邑(むら)とは…

人の多く集まるところ。まとまりのある一定の地域

運動の方針

- 連合での効果的な運動の展開を図るために、関係する市町、団体等が一体となって次のことに取り組んでいきます。
- 全県的に運動を広げていきます。
- 地域の個性を確保していきます。
- さらなる質の向上を図ります。
- 継続的な運動としていきます。

今後、町では、富士山の見える景観、棚田、なまこ壁などの地域資源を守り、活用していく活動を通じて、地域のブランド化、活性化を図りたいと思います。

そのためには、一人一人が住んでいる町に、誇りと愛着を持ち、主体性を持って行動し、行政、団体と協働で町づくりを進めていく必要があります。皆様のご協力をお願いします。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

4月から松崎・三浦幼稚園が 中川・岩科幼稚園に統合されます

1月30日(月)に町議会第1回臨時会が開かれ、幼稚園統合案が可決されました。

これにより、4月から町内4園が、中川幼稚園と岩科幼稚園の園舎を使用する2園に統合され、名称も「松崎幼稚園中川園」、「松崎幼稚園岩科園」となります。

今回の統合は、東海地震や東海、東南海、南海の三連動地震などで予想される津波対策として実施されるもので、



廃園となる松崎幼稚園

津波浸水の恐れのある松崎幼稚園と三浦幼稚園の園児を、海岸から遠い2園(中川・岩科)に移すことにより、園児の安全を確保することが目的です。

統合までの経緯

町では、園児の減少が急速に進んできたことから、幼稚園統合に向けて検討を進めてきました。

また、町内の各幼稚園では、災害時に園児が円滑に避難できるように、毎月防災訓練を実施してきました。

しかしながら、松崎幼稚園では、津波避難場所である松崎小学校の3階(現在は屋上)まで避難目安の5分以内で避難することができず、園児の安全確保に大きな不安がありました。

三浦幼稚園についても、海岸が間近なこと、最寄りの避難場所が急傾斜地になっていることや、他の避難経路も

狭く危険なことで、避難対策に不安がありました。

こうした中、昨年3月11日に発生した東日本大震災により、さらにこの危機感が増幅されました。

このような経緯から、町では1園統合について教育施設等整備検討委員会に諮問しました。委員会からは「1園統合は進めるべきであるが、それが実現されるまでの間、中川・岩科の2園を使い、園児の安全を守るべきである」との答申が出されました。

これを受けて、保護者や地区への説明会などを開催し、その意見なども参考に検討を進め、町として2園統合を進めることになりました。

以上のことから、今回の統合は、幼稚園が1園に統合されるまでの間の緊急避難的措置となります。

通園バスを運行します

幼稚園の統合により、通園距離が延び、通園に支障をきたす園児もあることから、通園バスを運行することとしました。

バスは幼児専用車(39人乗

り)を購入し、三浦地区および松崎地区と各園間の送迎を行います。送迎時には幼稚園教諭も添乗し、園児の安全に配慮することとしています。使用料は月額1,000円となります。

今後の予定

幼稚園1園化に向けての予定ですが、建設するにあたって安全の確保が第一であると考えます。

建設場所や強度、機能や内装等について、いろいろな角度からの検討が必要になります。特に災害対策については、いつ発生してもおかしくないと言われている東海地震等への対策が急務となります。

国では、東日本大震災を踏まえ、東海、東南海、南海の三連動地震の規模や被害の想定を審議していて、6月ころには地震動や津波高の推計値が発表される見込みです。

県は、この国の推計値を参考に、本県の地震動と津波高を8月ころ、自然現象の想定を秋には公表したいとしています。

町としましては、この県の



全会一致で可決する町議会

想定を基に、場所の選定等の作業から始めていくこととなります。ただ、東海地震などの対策は緊急性が叫ばれておりますので、スピード感をもって対応し、1園統合が早期に実現できるよう取り組んでいきます。

廃園となる幼稚園の地域の皆様は、大変寂しい想いをされることと思いますが、安全性の向上が目的であるということをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

【問合せ】

教育委員会(42) 3971

第2回那賀川水系河口周辺 治水対策委員会

津波対策講演会

2月14日（火）午後1時30分から環境センター文化ホールで東北大学の首藤伸夫名誉教授を講師にお招きして、「津波にどう備えるか」を演題に、第2回津波対策講演会が開催されました。

首藤名誉教授は1960年のチリ津波から50年以上にわたり、津波の研究を続けてきた日本の津波研究の第一人者で国際的な賞も受賞されています。



講演要旨

○これまでの津波防災対策についての取り組み状況として、高度経済成長にのって水門や防潮堤などの構造物が建造され、十勝津波等に対して一定の効果を発揮した。

東日本大震災では、構造物の想定を超えた津波が襲ったために被害も大きかったが、岩手県大田名部漁港の防潮堤等は津波の影響を半分にする効果があった。

○構造物は生命の安全を確保するものではなく、資産の減少を抑えるものである。

構造物の建設には長い時間がかかる。明日大きな地震が来ない保証はないので、今できることは何かそれぞれが考え、ソフト対策を実践しなければいけない。

那賀川河口 周辺治水対策委員会開催

委員会では、事務局から「第1回委員会の意見内容の

整理」として那賀川の生態系や以前検討された構造物案の比較とその影響等の説明を行いました。

その後、「津波対策の考え方」について委員の皆様による意見交換が行われました。

委員からは、「子どもたちの安全を考えてほしい」、「景観に配慮した水門の形式もあるのではないか」、「5分で津波が来ると逃げる場所がない。避難ビルや避難タワーも含めて検討していかねればいけないと思う」等の意見が出されました。

首藤名誉教授からは、「那賀川には橋がたくさん架かっているが、現状では橋も流されてしまう。家族でどのように逃げるのかしっかりと話し合い決めておくことが大事」との提言がありました。

また、前回も参加された阿部准教授と原田准教授からは、「津波対策のロードマップ作りが必要」、「逃げるという認識を継続して持ってほしい」との提言がそれぞれありました。

【問合せ】

産業建設課（42） 3965

軽自動車の手続きは お早めに

軽自動車税は、4月1日現在に原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車、二輪の小型自動車を所有している登録名義人に課税されます。

廃車や名義変更などの手続きが必要な場合は、3月中に済ませてください。

なお、使用者が転出・死亡した場合や、譲渡・盗難などにより、車両を使用していない場合でも、届出がなければ課税されます。

このようなことを防止するために、できるだけ本人が直接手続きをするようにしてください。譲渡などにより、他の人に手続きを依頼した場合には、3月中に手続きが完了しているか、必ず確認をお願いいたします。

軽自動車の手続きは、種類によって届出場所が異なりますので、次表を参照してください。

自賠責保険・共済の期限は切れていませんか？

自賠責保険・共済に加入していないで運転すると罰せられることがあります。

軽自動車の種類	届出場所・問合せ先
・125cc以下の原動機付自転車 ・小型特殊自動車 ・50cc以下のミニカー	窓口税務課 ☎(42)3968
・125cc～250cc以下の軽二輪車	静岡県軽自動車販売店協会 ☎055(988)4022
・軽自動車(軽三輪・軽四輪)	軽自動車検査協会沼津支所 ☎055(988)3847
・250ccを越える二輪の小型自動車	沼津自動車検査登録事務所 ☎050(5540)2051

軽自動車の減免制度

身体に障害のある方や、精神に重度の障害のある方の所有する自動車で、本人または常時介護者と認められた方が対象者のために使用する車両（1台）について、申請により税額を減免できる制度があります。

認定については、障害者手帳に記載されている内容や、使用する方の状況を審査させていただきます。

【問合せ】

窓口税務課（42） 3968

100歳のお祝い

たけもち
竹森 ひでさん

(明治45年1月25日生)

1月25日(水)、齋藤町長は、竹森さんの入所している特別養護老人ホーム「松崎十字の園」を訪問し、祝い金と記念品を贈呈して、100歳の誕生日をお祝いしました。

齋藤町長からお祝いの言葉を受けた竹森さんは、しっかりと口調で受け答えし、笑顔で「ありがとうございます」と応えました。



【問合せ】

健康福祉課 (42) 3966

ストップ!悪質商法被害

あなたも賢い消費者に②

味噌の訪問販売
今回は味噌の訪問販売を取り上げます。味噌の訪問販売は、「味噌の名産○○地方からやってきました。お味見してもらって気に入ったら買ってください」などと告げ、消費者が味見をして気に入った旨を告げると、到底一般家庭では消費しきれない味噌樽を売りつける。さらにひどい事案

では、勧誘を断つても引き続く勧誘を行う。判断能力の低下した消費者宅を訪問して味噌を売り付けるなどの被害事例が報告されています。
すべての業者がこのような業者ではありませんが、今回紹介したようなケースもあるということ念頭において、慎重な対応をすべきです。
もしも、被害に遭った場合は、役場などに早期相談をするようにしてください。
(文と絵)

司法書士 山田 茂樹



【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

なまこ壁と桜のツリーデーマーチ参加者募集

第13回伊豆松崎なまこ壁と桜のツリーデーマーチが次のとおり開催されます。

当日受付もできますので、お気軽にご参加ください。

【開催日】

3月31日(土)・4月1日(日)

【受付・スタート】

松崎小学校体育館

【参加費】

開催市町(松崎町・下田市・河津町・南伊豆町)に在住の方は、300円

(2日間参加の場合も同額)

【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

松崎文芸

俳句

春遅し山家は今も灯の少し
雪降らぬ伊豆に居て聞く雪便り
忘れ物とりに戻る子息白し
婆娑羅山懐深く畑を打つ
春水に緋色濃き鯉泳ぎけり
獲物追ふ戻りし犬の息白し
日向ぼこ猫も添い寝の夢の中
両手あげ背筋のばして寒明くる
菜園に追肥をくれる春立つ日
漬物の味に花咲く冬籠
おはようと登校の児ら息白し
喪帰りの空青すぎる二月かな
ランドセル揺らす姉妹の息白し
バスの窓拭いて眺むる雪景色
着脹れて手抜ばかりの増えにけり
廃品を集める生徒息白し
バス通の小学生や木の芽晴れ

山本武男
小林忠男
小林一男
佐藤 享
細矢金治
山本一詞
石田 宏
稲葉文字
依田ふじ枝
稲葉菊恵
土屋規矩子
吉岡うた子
夏目 和子
鈴木すみ江
清水高子
松田美智子
齋藤みつ子

田んぼをつかった花畑

今年も那賀地区の農閑期の田んぼ約52,000㎡を利用して、ワイルドフラワー(アフリカキンセンカ、るりからくさ、姫金魚草、矢車草、つましろひなぎく、ひなげしの6種類)の種をまきました。

3月中旬以降、5月5日まで、アフリカキンセンカから順次開花しますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。



～まちのできごと～

1/27 防災講演会



環境センターでは、東日本大震災で被災した岩手県大槌町の大槌保育園長の八木沢弓美子さんを講師に、園児を津波から守った避難時の経験について講話をしていただきました。

2/11 鬼射まつり



池代地区にある日吉神社では、1年の厄除けや家内安全などを願う伝統行事「鬼射まつり」が行われました。早朝に池代川で身を清めた後、弓太郎が約20m離れた的を目標けて弓を射しました。

2/6 高規格救急車寄贈



J A 共済連静岡と J A 伊豆太陽から、西伊豆広域消防組合へ高規格救急車1台の寄贈がありました。このことにより、搬送中の高度な処置が可能となり、救命率向上が期待されます。

2/21 ジオガイド研修会



伊豆半島ジオパーク構想推進のため、ふるさとガイド松崎のメンバーを対象に研修会が行われました。当日は、講義と現地見学会を行い、町内のジオサイトに対する知識を深めました。

富士山の日となる2月23日(木)、松崎町は、「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」を宣言しました。

この宣言は、町民有志の実行委員会の皆様が、「町を元気にしたい」、「町民が誇りを持てる町にしたい」といった気持ちで計画、立案されたものです。

町民の皆様の中には、世界一は言い過ぎではないかという意見もあるかとは思いますが、私は世界一で良かったと思っています。

なぜなら、1位は記憶に残りますが、2位では、記憶に残りません。

今回の宣言も、同様の理由から「一番」という表現を使っています。

行政が主導となって行う場合、このような大胆

「世界でいちばん富士山が きれいに見える町」宣言

な宣言はできなかったらうと思います。

今回のように、行政にはできないが、住民にはできること、または、その逆もあると思います。そういったところをお互いに補いながら、活動を進めていくことができれば、より良いまちづくりが推進できます。

町長室からこんにちは ②7

町では、今後もこういった方たちと協力して、町を盛り上げていきたいと考えています。

何かしなければ、町が元気にならないとがんばっていた。いただいた町民有志の実行委員会の皆様に感謝いたしますとともに、町民の皆様におかれましては、これらの活動へのご理解と積極的なご協力をお願いいたします。

松崎町長
齋藤 文彦

町の人口と世帯

(平成24年1月31日現在)
()内は前月比

総人口	7,817人	(-9人)
男	3,695人	(-6人)
女	4,122人	(-3人)
世帯数	3,107戸	(-3戸)
転入	16人	転出 13人
出生	4人	死亡 16人

町の交通事故

平成24年1月発生分
()内は前年同月比

人身事故	1件	(±0)
物損事故	8件	(+2)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(-1)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈2	石田 徳衛	81	重 美
道 部	堤 欽治	54	齋藤美佐子
船 田	渡邊とみ子	85	和 人
那 賀	藤井一男	78	美津 広
櫻 田	清水みつ子	82	純 一
八木山	佐藤 克巳	89	渡邊美恵子
伏 倉	吉野 勝利	86	潤
建久寺	松本 正躬	84	昌 文
岩 地	長嶋たみ子	87	政 彦
江奈2	岸本 浅雄	84	淳
江奈1	中村 徳子	35	力
江奈2	奥村 三郎	92	俊 文
東 区	深澤よゑ江	101	進
中 区	関 敬吉郎	85	とよ子

戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
船 田	悠 雅	男	山本 泰士
江奈2	聖 蕾	女	石田 広貴
宮 内	龍 広	男	鈴木 広志
江奈1	初 美	女	吉長 寛志

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

生活習慣病の予防

生活習慣病は、好ましくない生活習慣の積み重ねによって引き起こされます。生活習慣病には、肥満、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、がん、虫歯や歯周病などがあります。

なかでも、肥満は万病のもとで危険信号のひとつです。松崎町では、この肥満が40〜50歳代の親世代に多いだけでなく、幼児から小学生の子どもにも多く見られます。これは遺伝だけでなく、親の生活習慣が子どもに反映されていることが多く、親自身が自分の生活習慣を見直すことが重要です。

子どものうちから注意していれば成人後に生活習慣病になる危険が少なくなります。

次のことに注意しながら、親子で生活習慣の改善をしましょう。

○食事は3食規則正しく食べ、好き嫌いはせず、よく噛んで、食べ過ぎに注意しましょう。

○テレビやゲームは短時間にして、外で体を動かしましょう。エスカレーターより階段、車より徒歩を心がけましょう。

○食べるのは寝る3時間前までにすませ、夜ふかしをしないで早く寝ましょう。

姉妹都市通信

帯広市から

電信通り商店街の新たな取り組み

商店街の名称は、当初「晩成社通り」と呼ばれていた通りに、明治30年に帯広で初めて電信柱が立ち、これを機に名称を「電信通り」と称するようになりました。

松崎町との関わりは、昭和63年に新浜コミュニティ通り商店会と姉妹提携の調印を行っており、昨年も松崎町の子どもたちが電信通り商店街を訪れるなどの交流が続いています。

しかし、全国的な地方都市の商店街と同様に、地域の高齢化が著しく、周辺への大規模小売店の出店などで、空き店舗が目立つ厳しい状況となっています。

このため、商店街が国の支援を受けながら「高齢者や障害のある方と協働・共生する商店街づくり」をコンセプトに、空き店舗を活用してさまざまな事業を展開しています。商店街では昨年までに、生

活用品と姉妹都市の物産品販売や宅配などを行うアンテナショップ御用聞き屋「べんぞう商店」を始めとする4つの店舗を福祉団体やNPO法人と連携してオープンさせており、新たな活気が生まれつつあります。

「べんぞう商店」では、松崎町のわさび製品も販売しており、商店街活性化の一翼を担っていただいています。松崎町の皆様と今後も交流を続けていきたいと考えていますので、帯広にお越しのときには、ぜひ電信通り商店街にもお立ち寄りください。



①「べんぞう商店」全景
②店内では、松崎町の特産品が販売されています
③姉妹都市締結30周年にいただいた「開運栄光球」が、店内に展示されています。